

令和6年度 みんなの未来をつくるまち活補助金 主な変更箇所

◆ 補助金名を変更

	新	旧
補助金名	長岡京市みんなの未来をつくる まち活補助金	長岡京市市民活動応援補助金

- ・ 「公益的な」活動が対象であることを意識してもらうため、「みんなの未来をつくるまち活」の補助金と名称変更。

◆ 補助金コース名と内容の変更

①	新	旧
コース名	たねまくコース	市民協働スタートアップコース
対象	<u>立ち上げ3年以内の事業</u>	設立3年以内の団体
補助割合	<u>3/4</u>	10/10
上限額	<u>10万円</u>	7.5万円
②	新	旧
コース名	はなさくコース	市民提案型協働事業コース
補助割合	<u>2/3</u>	3/4→2/3→1/2
上限額	<u>30万円</u>	30万円

- ・ コース名と補助割合や上限額を変更。
- ・ 特に、たねまくコースは今まで対象が「設立3年以内の団体」だったが、「立ち上げ3年以内の事業」に。

◆ 補助対象外事業

- (1) 地域住民の自由な参加を認めない、特定の者のみにより実施する事業
- (2) 特定の政治、宗教、思想若しくは政策等を推進又は反対することが目的の事業
- (3) 研究または調査、構成員の内部研修を目的とした事業
- (4) 事業効果に持続性及び発展性が欠けると認められる事業
- (5) 国又は長岡京市を含む地方公共団体の補助制度に採択されている又は申請している事業

- ・ 特に政治に関わる部分について伝わりやすくするため変更。
- ・ 公共団体の補助金の併願不可に。

◆ 申請・審査しやすい申請書への変更

- ・ 補助金申請書の様式を修正(別紙)

別記様式第2号（第6条、第10条関係）

事業実施計画書

団体名		
事業の名称		
【①課題】 解決したい地域課題とその背景	(事業の目的と課題の把握、公益性)	
【②事業内容】 ①を解決するための事業（申請事業）の概要	(実行性、公益性、独創性)	
【③目的】 ②（事業内容）によって到達したい状態や目標	(事業の目的と課題の把握)	
広報の方法 (公益性)	*広く市民に知らせて参加者を公募してください	
収入を得る方法 (継続性)	*事業を今後も続けるための、市補助金・自己資金以外の収入を検討してください。	
今年度の事業の内容とスケジュール *購入する備品の使用用途もこちらに記載してください。 (実行性、公益性)	実施時期	事業の名称や実施内容、場所、参加予定人数等
次年度以降の事業の展開 (継続性)	年度	
	年度	